

2026年8月期 国内事業 月次売上速報  
(2025年9月1日～2026年8月31日)

2026/6/10  
フェスタリアホールディングス株式会社

■売上高推移

(単位：%)

		前 期 比														
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	上期計	3月	4月	5月	6月	7月	8月	下期計	合計
全店(※1)	売上高	94.8	111.7	102.9	105.4	115.3	107.4	106.1	122.9	121.9	118.3				121.0	110.3
	客数	89.9	97.7	99.8	95.1	101.6	100.2	97.2	105.6	109.4	109.8				108.3	100.3
	客単価	105.5	114.3	103.1	110.8	113.5	107.2	109.1	116.4	111.4	107.7				111.7	110.0
既存店(※2)	売上高	94.6	110.8	101.9	104.9	112.8	107.6	104.8	120.0	118.6	118.6				119.1	108.3
	客数	90.0	95.3	97.1	92.9	99.5	98.3	94.9	100.6	107.3	103.2				103.7	96.7
	客単価	105.1	116.3	105.0	112.9	113.4	109.4	110.4	119.3	110.6	114.9				114.9	112.0

(※1) 全店：国内直営店+EC+富裕層ビジネス

(※2) 既存店：前前期首から期末まで通年で稼働した国内直営店

■月次動向(5月度)

<p><b>【販売情報】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5月の既存店売上は、原材料価格の高騰を踏まえて4月に価格改定を実施したものの、その影響は限定的にとどまり、ブライダル関連商品を中心に堅調に推移しました。ゴールデンウィーク商戦に向けて各ディベロッパーによる販促施策が強化されたことを背景に、SC(ショッピングセンター)業態を中心に来店客数が増加しました。</li> <li>EC売上は、自社ECにおいて倉庫移転に伴う出荷体制の一時的な混乱があったものの、中旬以降は当該課題が解消したことに加え、販促強化施策が奏功し、前年を上回る売上を確保しました。他社ECモールでは、楽天市場における増収基調が継続したほか、5月27日にファッションEC「ZOZOTOWN」へ新規出店するなど、販路拡大に向けた取り組みを推進しました。</li> <li>富裕層ビジネスは、金融機関のウェルスマネジメント部門との連携を通じて顧客基盤の拡充を進めたものの、一部案件の成約時期が後ろ倒しとなった影響により、前年を下回る売上となりました。</li> </ul> <p><b>【名簿数の状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5月末時点の登録名簿数は43.8万人となり、前期末(8月末)の38.8万人から5万人増加し、前期末比12.9%の増加となりました。</li> </ul>
--

◆店舗数推移

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	上期平均稼働店舗数	3月	4月	5月	6月	7月	8月	下期平均稼働店舗数	通期平均稼働店舗数
国内直営店舗数	当期	76	75	76	76	75	75	76	75	78	78				77	76
	前期	77	77	77	77	77	75	77	75	75	75	75	75	75	75	76

◆出退店・改装情報(5月度)

<p><b>【出店】</b> なし</p> <p><b>【退店】</b> なし</p> <p><b>【改装】</b> なし</p>
---